

一般質問



木村けんご 議員 (民・無)

選挙にかかると経費削減は可能か

1 4月に行われた区議選は、4年前と比べ、経費の削減ができたのか。2 平成26年の区長選挙と区議補欠選挙の総額は、3 8年前の選挙では翌日開票だったと聞くが、翌日開票は区の業務等にどれほどの影響を与えるのか。4 経費面では即日開票とどれくらい違うのか。5 区議選の時期を早めて区長選挙と一緒にすれば、経費が2ではなく1.5で済むのでは。6 区長選挙のように統一地方選挙から外れた選挙について、何らかの方法で選挙期日の統一化を図れないのか。

選挙管理委員会委員長

1 開票事務に読み取り分類機を導入し、従事職員70名の人員費の経費を削減した。2 約1億4千万円だ。3 開票事務に約20名の職員が従事するため、少人数職場等での職員配置が手薄になるおそれがある。4 人件費等で約300万円の経費減となる。5 投票事務等をあわせて行うことで、経費削減額はおおむね8千万円と試算している。6 現行法上では大変困難だと考えている。

殺処分ゼロ、弱い命と共生する社会を

1 犬の殺処分ゼロを達成している自治体もあると聞くが、品川区も殺処分ゼロにすると

ラフの今後の展開は。3 高齢者や障害者がスポーツを通じて品川区で幸せに住み続けていくための、今後の施策は。4 文化スポーツ振興部長

1 スポーツを通じた健康長寿社会の実現等が期待されており、区としても今後の動向を注視していく。2 スポ・レク推進委員会を中心とした地域スポーツクラブの設立と充実を引き続き取り組んでいく。3 地域スポーツクラブやスポーツ協会等と連携し、スポーツ事業の充実が努めていく。

誰もが愛用する乗り物と改正道路交通法について

1 6月に改正道路交通法が一部施行されたが、区としてどのように周知していくのか。2 自転車利用の交通安全意識を高めるために高めていくのか。3 交通安全教室の実施回数を増やしていく考えは。4 マナーアップやルール厳守について、警察と区民の間に立つ行政として、しっかりと指導を。

区長

1 広報紙やホームページ、各種交通安全事業の中で周知を図っており、今後も警察と連携し、周知に努める。2 高齢者向けの交通安全教室などにより普及を図っており、今後も警察等と連携し、交通安全意識の普及を促進していく。3 昨年度から自転車利用キャンペーンや親子自転車安全教室など新事業を立ち上げ、啓発を進めている。4 引き続き交通ルールの遵守とマナー向上に向け、警察等と連携した啓発指導に努めていく。

健康寿命とスポーツ庁発足について

1 スポーツ庁に区が期待することは。2 地域スポーツク



松澤 利行 議員 (自・未)

区議会議員選挙について

1 のぼり旗を選挙事務看板や個人演説会場看板として使用することは、公職選挙法に抵触しないのか。2 小さく個人演説会場と書けば、候補者名を書いたのぼり旗を持ち歩くことは許されるのか。3 当選が決まった後、選挙の御礼を街頭で述べている当選者を見かけた。有権者は好意的に受け入れているようだが、公職選挙法違反では。4 明るい選挙推進協議会と連携し、公職選挙法の理解を求める講演や啓蒙活動を行っている。

選挙管理委員会委員長

1 看板の範疇として認められている。2 街頭演説は演説者がその場所にとどまり、選挙管理委員会が交付する街頭演説用標旗を掲げることとされている。標旗以外ののぼりを立てることや、移動しながらの演説等は公職選挙法に抵触するおそれがある。3 選挙後のあいさつ行為には、法により一定の制限があり、立候補者には手引を作成し周知徹底を

病児、病後児保育について

1 病児保育について。2 前日予約を徹底し、週をまたいで予約をなくせば、キャンセルが少なくなり利便性が増えるのでは。3 キャンセルが多いため、受付人数を増やすなど弾力的運用を図っては。4 今後の事業展開は。5 病後児保育について。6 利用者の減少について見解は。7 広報を積極的に行うべきでは。8 積極的に取り組もうと考えている保育園への支援も必要では。

子ども未来部長

1 7 早目に予約したい等の希望に応える必要があるため、今後の検討素材とする。2 定員を超えた予約は、キャンセルがなかった場合に混乱が生じるため困難だ。3 子ども・子育て会議で意見を聞きながら、ニーズや実績を踏まえ定員を検討していく。4 勤務先での看護休暇の普及も一因と推測される。5 園だよりに掲載するなど周知に努める。6 病後児保育に取り組む希望のある保育園には、子ども・子育て計画を踏まえ対応していく。

道路行政とバリアフリーについて

1 道路交通法の改正で自転車の交通ルールが変わったが。2 車道を通らなければならぬ道路と例外的に歩道を通ってよい場合の区別はどのよう

にしたらよいか。1 歩道を通行してもよい部分と車道を通行してほしい部分を色分けし、区民が混乱しないようにすべきでは。2 自転車転倒する危険がある2センチの歩道段差をゼロ段差にすることは可能か。3 なぜ歩道段差は何種類もあるのか。4 2センチ段差とゼロ段差が半々の横断歩道を見かけたが、なぜなのか。5 防災まちづくり部長

私道整備助成事業にバリアフリーのこころを入れることについて

1 区内には、助成が受けられそうな未舗装の私道が何か所も見受けられる。私道が個人の財産で、区の指導が入れないから助成を受けられないのか。福祉やバリアフリーの観点から、指導が入れる制度があればと思うが所見を。2 区長

採択し、報告を求めた請願について

平成26年第4回定例会で採択し、区長に報告を求めた請願について、次のとおり報告があったので、お知らせいたします。

品川区私立幼稚園児保護者負担教育費軽減の請願

1. 保護者補助金の所得制限の撤廃について 保護者補助金は、保護者の負担軽減、公私格差の是正を目的に設けられたものであり、品川区としても厳しい財政状況が続く中、補助金制度の維持に向けて努力してまいりました。

この制度は、幼児教育の機会を等しく確保するため、一定の所得制限の下で補助金を交付してきたものですが、景気低迷の影響により、公私立間の負担が広がりをみせております。そのため、平成22年度からは、所得制限の緩和を行い、約60%の保護者が対象となりました。さらに段階的に緩和を進め、平成26年度からは約70%の方が対象となるよう所得制限の緩和を図っております。